



公益社団法人
日本地すべり学会
The Japan Landslide Society

地震による 都市域の 斜面災害

釜井俊孝(京大防災研)

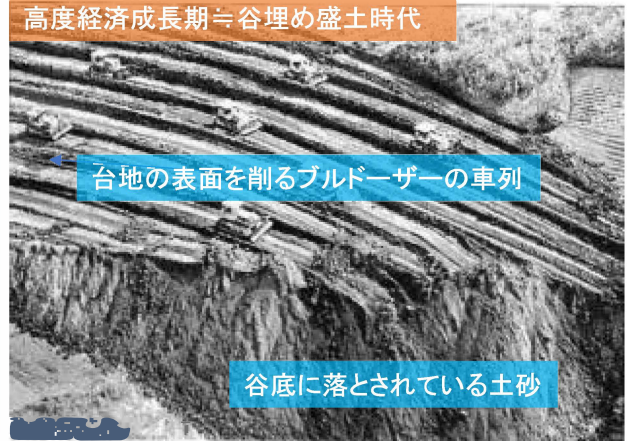
高い地下水位

緩い盛土

異常な揺れ方

液状化

高度経済成長期＝谷埋め盛土時代



台地の表面を削るブルドーザーの車列

谷底に落とされている土砂

宅地ブーム 1962年2月下旬 横浜市南区で 朝日新聞

20～50年後、準備完了

遅れてきた「公害」



熊本で被害、15000宅地

首都圏での被害、数十万宅地

谷埋め盛土地すべり(2011年3月、福島市)

1970年代半ば以降、山の手の宅地造成地で奇妙な地震被害が出現するようになりました。まだら模様の被害分布が特徴的な、不思議な宅地被害です。調査してみると、被害を受けた住宅の多くが、造成時に谷筋を埋め立てた「谷埋め盛土」の上にあります。ここでは、**谷埋め盛土地すべり**という、極めて戦後的な現象を中心に、次の首都直下地震で予想される災害像を議論したいと思います。